



じどう 児童のみなさんと、ほごしゃ 保護者の方へ

なつやす としよしつ 【夏休みの図書室について】

ことし なつやす か かん
今年の夏休みは 4日間あいています！

ひ にち：7月21日（火）、23日（木）、

8月24日（月）、25日（火）

じかん ごぜん じ じ 午後は開いていません）

～おねがい～

- としよしつ く とき うち ひと つた き
・図書室に来る時はお家の人に伝えてから来ましょう。
- つうがく とお きたもん きゅうしょくしつ よこ はい
・通学路を通して、北門（給食室の横）から入りましょう。
（他の門はしまっています）
- つうがく とき
・通学する時は、ぼうしをかぶってきてください。
- うわぐつをわすれずに持ってきてください。
- あつ つづ も ちや
・暑い日が続くので、水とうを持ってきてください。図書室の中でお茶をのんでもらってよいです。本がよごれないように気をつけてのみましよう。
- としよしつ ほん だし へん どのしよ
・図書室では、本のかし出、返きやく、よやく、読書ができます。
かし出できるのは4さつまでです。
- なつやす まえ かつ にち もく ほん かつ か きん
・夏休み前と、7月23日（木）までにかりた本は、9月4日（金）までに返ししましょう。
- かつ か げつ かつ にち か ほん しゅうかんご
・8月24日（月）と、8月25日（火）にかりた本は、2週間後までに返ししましょう。



やわたしりつ やわたしょうがっこうとしよしつ
八幡市立八幡小学校図書室

ほんのおたより

ねんせい ねんせいよう
（1年生～3年生用）



れいわ ねん がつ か なつごう
令和8年7月6日夏号



なつやす よ 夏休みに読んでみて



もうすぐ楽しい夏休みが始まりますね。長い夏休みの間に、夏を感じられる本や、いつもより長い物語の本、調べたいことを調べる本をかりてみるのはいかがでしょうか？そこで、今回の図書室だよりでは、夏休みに読んでみてほしい本をしょうかいします。気になる本があったら、ぜひかりに来てくださいね。

しぜんかがく 『カブトムシみつけ！』 さとなかまさき こうせい ぶん とくましょてん
里中正紀/構成・文 徳間書店



カブトムシはかせになろう！

なつ い 夏と言えば、カブトムシを思いうかべる人や、夏休みにカブトムシをつかまえにいくという人も多いのではないのでしょうか？

この本には、カブトムシを見つけるためのコツがしょうかいされています。カブトムシがよく集まる木は、コナラや、クヌギの木だそうで、その木のとくちょうが分かりやすくせつめいされています。また、じゅえきというあまいみつが出ている木には虫たちがあつ集まりやすいので、じゅえきの出ている木を昼の間にさがしておくのもよいようです。

そして、カブトムシが育つ様子もくわしくしょうかいされています。カブトムシのメスが土の中にたまごを生んで、よう虫になり、さなぎになり、やがてカブトムシになるまでの様子の写真がのっているので、よくかんさつしてみましょう。

えほん『となりのせきのおともだち』 はしもとえつよ/作・絵 国土社



いろいろなお友だちとなかよくしよう

小学1年生のののちゃん。教室のとなりのせきには、ちこちゃんというお友だちがすわっています。ちこちゃんは、はずかしがりやで、ほとんどおしゃべりをしません。ののちゃんは、お友だちになりたいくて、ちこちゃんに話しかけますが、下をむいてしまいます。なので、ののちゃんは、ちこちゃんが何を考えているのか分かりません。

でも、ちこちゃんをかんさつしていると、クラスの子がおどけている時には、ちこちゃんもクスクスとわらっていることを知りました。ののちゃんは、そんなちこちゃんを見てうれしくなりました。

ののちゃんは、ちこちゃんの気持ちを思いやり、お友だちになれるでしょうか？

ものがたり『おとうとのたからもの』

こてまり 小手鞠い/作 さく すずきみほ/絵 いわさきしよてん 岩崎書店

だれかの大切なものに思いをよせよう

ほ育園に通う 弟 の冬馬くんは、本がすきで、いつも絵本をむちゅうになって読んでいます。しかし、お姉ちゃんのおおいちゃんは、国語も、本を読むのも苦手で、なぜ 弟 がそんなに本を大切にしているのかが分かりません。弟 といっしょに外で遊びたいおおいちゃんは、わざと、弟 の読んでいる本を取り上げて、「返したら、外へ行く？」と、意地悪してしまいます。

ある日、冬馬くんがかぜをひいてしまい、ねこんでいる時にも、絵本をギュッとおねにだきしめてねむっていました。その絵本が、ね返りをうった時に、ポロッと落ちたので、おおいちゃんは、絵本をよ読んでみることにしました。ページをめくってみると、ひらがなばかりなので、これなら読めると思いました。その時、冬馬くんが目をさましたので、おおいちゃんは、絵本をよ読んであげることにしました…。

冬馬くんが、こんなに絵本を大切にするのはある理由があったのです。その理由とは、一体どんな理由なのでしょう？



しぜんかがく『夏の食べもの』 季節を感じる旬の食べもの図鑑 全4巻



なつ た よしだ き よ こ かんしゅう いわさきしよてん 吉田企世子/監修 岩崎書店

季節の食べものおいしいね

みなさんは、食べものに「旬」があることを知っていますか？「旬」というのは、しぜんのなかで育った野さいや、くだもの、魚などがもっともおいしくなり、たくさんとれる時期のことです。日本は、春・夏・秋・冬と季節がかわるので、その季節によって、ちがう食べものを楽しむことができますね。そんな季節によってかわる「旬」の食べものを知ってみましょう。

たとえば、夏の野さいには、トマトや、なす、きゅうりなどがあります。くだものには、スイカや、メロン、ももなどがあります。これらの季節の食べものがどのように育てられているのかや、その食べものを使った料理のつくり方などものっていますよ。

ものがたり『はじまりはわざとじゃない』

かさいまり/作 さく きたむら 北村みなみ/絵 え くもん出版

友だちの本当の気持ちは…？

つばさは、わざと人にぶつかったり、つくえの上の人の筆箱を落としたりして、よく先生に注意されています。つばさにぶつかられたるいは、イライラします。そして、なぜ、つばさがそんな行動をするのか理かできません。

また、ある日には、るいが、妹 と買い物に出かけた時に、気づくと妹 がころんできました。そのそばに、つばさがいたので、るいは、つばさが妹 をこかしたのではないかとうたがいます。でも、本当は、つばさが、妹 を助けてくれていたのです。

この出来事をきっかけに、るいは、つばさの気持ちを少しずつ理かしていくのですが、二人は友だちになることができるのでしょうか？

つばさと、るい、それぞれの目線で物語が進んでいくので、同じ出来事でも、二人の気持ちのちがいを知ることができます。つばさが、人にちょっかいを出していたのにも理由があるようですよ。

